



婦防みやぎ

『第33回宮城県婦人防火クラブリーダー研修会』開催

平成27年9月3日(木), 宮城県庁講堂において, 県内約350人のリーダーが参加し, リーダー研修会を開催しました。

研修会の冒頭, クラブ員の永年に渡る功績を讃えて, 宮城県知事から永年功労の表彰が行われ, 2人の受賞者に, 宮城県の笹出危機管理監から感謝状が授与されました。また, 無火災地域推進功労表彰として, 婦人防火クラブ5団体, 幼少年消防クラブ2団体の表彰が行われました。幼少年クラブ表彰では, 代表児童による「ぼうかのちかい」が行われ, そのご褒美として「むすび丸」から, むいぐるみが手渡されました。

意見発表では, 仙台若林地区, 名取地区, 黒川地区の代表者3人から各地区での活動の紹介や取組を発表いただき, 参加者は真剣に耳を傾けていました。今回の研修会には愛知県婦人消防クラブ連絡協議会から35人が参加し, 東日本大震災を経験した本県のクラブ員の活動に熱心に耳を傾けていました。また, 東京で行われた幹部研修会の参加者から, 日頃なかなか知ることのできない幹部研修の内容や他地域との交流の様子について報告をいただきました。

講演では, 「もしものために今, できること～宮城で学んだこと～」と題して目黒星美学園中学高等学校の京(きょう)百合子先生からお話をいただきました。

仙台出身の先生が東京の学校に勤務している中で迎えた東日本大震災。生徒たちは被災地である宮城県に行き, ボランティア活動を通じて逆に自分たちが学ぶ事がたくさんあることに気づきました。

そして, 自分たちが住んでいる東京も「未来の被災地」であり, 自分たちも「未来の被災者」であると意識し始め, 日頃からの備えとして女性目線で必要なものを話し合ったところ, 大規模災害時に仮設トイレが不足するという問題に注目しました。

目黒星美学園では, 民間企業の協力を得て簡易トイレを作成し, この取組が平成27年3月に仙台市で開催された国連防災会議などで紹介されました。

講演の合間に隣同士で震災時に必要なものなどを話し合う時間もあり, 東日本大震災を契機に宮城から各地に日頃からの災害に対する意識を発信していると実感した研修会でした。最後に, 参加者一同で防火宣言を行い, 参加者全員が心新たに地域の防火防災に取り組んでいくことを宣言しました。



～ 自分達の地域から火災を出さない 自分達の地域は自分達で守る ～

宮城県婦人防火クラブ連絡協議会

事務局

〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1

宮城県総務部消防課内 (宮城県庁5階)

TEL 022(211)2374 FAX 022(211)2398

地域の担い手として

宮城県婦人防火クラブ連絡協議会

会 長 後 藤 重 子



皆様には日頃より防火防災の担い手としてご活躍いただいておりますこと心より感謝申し上げます。

未曾有の震災からまもなく5年を迎えようとしております。あの経験を風化させてはいけないと被災地域では、様々な取り組みが行われております。

防潮堤や災害公営住宅などのハード面の復興は進んでおりますが、被災者一人ひとりの心はまだ癒されることなく日々を過ごしております。そんな中、2015年度の漢字一文

字が「安」に決まりました。

災害をなくすことはできません。しかし、災害を減らすことはできます。自分たちが地域の安全安心を守る担い手として、震災で得た経験を基に、地域の人のつながりを大切に「未来に生かす新たな防災」を合い言葉にクラブ員一丸となって「人が人を支え、助け合う」という防災の基本を忘れずに活動を続けることが必要だと思っております。今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

宮城県婦人防火クラブ連絡協議会役員名簿 (平成28年1月1日現在)

役職	氏名	地区名	役職	氏名	地区名	役職	氏名	地区名
会長	後藤重子	塩釜	理事	高橋理恵	仙台太白	理事	佐藤きみ子	石巻
副会長	八木弥生	仙台宮城	//	今野なみい	仙台泉	//	嶋田陳子	亘理
//	櫻井よしみ	岩沼	//	高橋則子	名取	//	青木孝子	仙南
//	佐々木文子	大崎	//	佐藤千賀子	登米	//	及川秀子	気仙沼・本吉
理事	穀田梅子	仙台青葉	//	及川サチコ	栗原	監事	丸川まさ	仙台若林
//	菅原政子	仙台宮城野	//	松崎明子	黒川	//	澁谷長子	登米
//	山田はるみ	仙台若林						

【平成27年表彰者】

○ 第67回日本消防協会定例表彰受賞

- ・優良婦人消防隊 塩竈市婦人消防隊
- ・優良婦人消防隊員 亀山 いつ子(石巻市河北婦人消防隊長)、及川 秀子(本吉町婦人消防隊長)

○ 宮城県知事表彰

- ・婦人防火クラブ員永年功労表彰 亀山 いつ子(石巻地区)、菅生 和子(亘理地区)
- ・無火災地域推進功労表彰(婦人防火クラブ) 東松島市婦人防火クラブ、多賀城市婦人防火クラブ連合会、利府町婦人防火クラブ連合会、涌谷町婦人防火交通安全クラブ連合会、美里町婦人防火クラブ連合会
- 〃 (幼年消防クラブ) 東松島市小野保育所幼年消防クラブ、七ヶ宿町立関保育所幼年消防クラブ

○ 宮城県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰 亀山 いつ子(石巻地区)、菅生 和子(亘理地区)

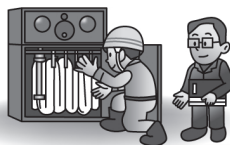
広告

～県民の安全・安心な暮らしを支えて～

消防用設備等の適正な点検により安全・安心な毎日を支えます

宮城県と災害時における応援協力に関する協定の締結をしています。

- ・公共施設の消防用設備等の緊急点検
- ・要請により消防用設備等の応急復旧の為の技術者を派遣
- ・緊急避難施設への簡易トイレ、消火器などの提供
- ・協会会員の所有する給水車等、機材とオペレーターの提供



一般社団法人宮城県消防設備協会

会長 櫻井 勝雄

〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-5-22 電話 022-223-3650

全国統一ラベル

消防用設備等の適正点検の証!!



消火器以外の消防設備等用

消火器用

宮城県消防設備協会

検索

「創造的復興」に向けて

～復旧・復興の更なる飛躍を目指す年に～

宮城県知事 **村井 嘉 浩**



婦防みやぎ第35号の発行、誠におめでとうございます。皆様方には、仕事や家事の傍ら、家庭や地域の防火・防災の推進に御尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、仙台育英学園高等学校が、夏の甲子園大会において堂々の準優勝に輝き、はつらつとしたプレーが私たち県民にたくさんの勇気と感動を与えてくれました。また、防災集団移転や土地区画整理、災害公営住宅の整備によるまちづくりが進展したほか、JR仙石線と石巻線の全線運行再開、仙石東北ラインの開通など震災からの復興が着実に進んだ年でした。

一方、9月の関東・東北豪雨では、2人の尊い生命が失われたほか、堤防決壊や土砂崩れ、冠水などにより住宅や公共施設、農林水産業などに大きな被害が発生しました。改めて亡くなられた方々の御冥福を心からお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。県といたしましても今後の防災対策の強化を図ってまいります。

今年は、「宮城県震災復興計画」に定める「再生期」の3年目に当たります。昨年に引き続き、「迅速な震災復興」、「産業経済の安定的な成長」、「安心して暮らせる宮城」、「美しく安全な県土の形成」を政策推進の基本として、復旧・復興に向けた施策に最優先で取り組むとともに、人口減少対策や地域経済の活性化策、地方分権型社会の実現など地方創生の取組も併せて推進してまいります。

東日本大震災から間もなく5年が経過します。復旧・復興はいまだ道半ばではありますが、本県が、震災前の状態に戻す「復旧」ととどまらない「創造的復興」を成し遂げ、「生まれてよかった、育ってよかった、住んでよかった」と思える宮城県を県民の皆様とともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

広告

東日本大震災から5年を経過しようとしております。

なお、復興のため努力してまいります。

今後とも安全・安心なLPガスをご利用いただきますよう宜しくお願い申し上げます。



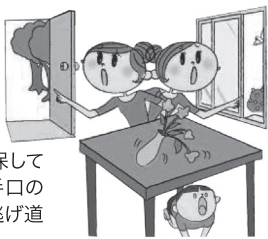
◆地震が起きた時の心構え◆

地震が発生したら、まず第一にご自身やご家族の安全を確保することが大切です。日頃から、ご家庭にて有事の際に取るべき行動をご家族と確認しておきましょう。

心構え その1

自分の身を守りましょう

まず、身の安全を確保して下さい。(玄関や勝手口の扉、窓などを開けて逃げ道を確認しましょう。)



心構え その3

巨大地震後にガスを使用する時には

- 自宅のLPガスボンベ等が倒れていないことを確認して下さい。
- 地震発生時(震度5程度以上)、ガスを使用していた場合はマイコンメーターが自動的にガスを遮断していることがあります。
- この場合、ご自身でマイコンメーターの復帰操作※を行えば、ガスがご使用になります。日頃から、販売店に確認しておくで役立ちますね。



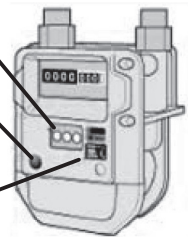
※右記「マイコンメーターの復帰方法」をご参照下さい。

マイコンメーターの復帰方法

表示ランプ

復帰ボタン

検定有効期限ステッカー



すべてのガス栓・器具栓が「閉まっていること」を確認してください。マイコンメーターの[復帰ボタン]のキャップを外し、ボタンをしっかり押して[表示ランプ]が点灯したら手を離してください。1分後、ランプの点滅が消えていれば、ガスは安全にご使用出来ます。

※この方法でガスが使用出来ない場合は、販売店に連絡して下さい。

心構え その2

火の始末をしましょう

器具栓、ガス栓及び容器バルブを閉めて下さい。



●LPガスを安全に使用するため、又、LPガスが使用出来なくなった時に備え、LPガス販売店の緊急連絡先「電話番号」を確認しておきましょう。



泉地区の活動報告 ～笑顔でコミュニケーション～

仙台市泉地区婦人防火クラブ連絡協議会

会 長 今 野 なみい

私たちの住む泉区は、区の中央を流れる七北田川を挟んだ丘陵地帯を中心に住宅団地が形成されており、地下鉄南北線の北の玄関口である地下鉄泉中央駅を中心として、文化・スポーツ施設やショッピングセンターなどが整備され、交通アクセスの利便性も相まって、副都心として目覚ましい発展を遂げています。

一方、西部地域は、船形連峰の一つである泉ヶ岳など広大な自然環境を有しており、都市機能と豊かな自然が調和した街です。

当地区では、6つの支部が年間を通し、様々な活動を行っております。主に、火災予防運動の一環として行う大規模店舗や地下鉄駅周辺での防火キャンペーン、泉ヶ岳や県民の森などでの山火事防止キャンペーン、町内会・子ども会と連携して行う防火夜回り、文化財防火デーに伴い、県重要文化財を火災から守るための消防訓練など地域特性に応じた活動を行っております。

地区の活動では、昨年度から「サバ・メシ」コンテストを各支部対抗戦形式で実施しています。「サバ・メシ」とは、ご存じのとおり「サバイバル・飯炊き」を略したものです。当地区では食を通した防災訓練と銘打って、災害時に必要な非常食を身近な食材を使い、簡単に安く、しかもおいしくをテーマに、今年はメインの食材を「アルファ米・カンパン」として、45分以内でカセットコ

ンロ一台もしくは火器を使用しない料理、材料費3千円以内を条件として行いました。今年で2回目の実施ということもあり、各支部が事前に入念な打ち合わせを行うなど、工夫を凝らして、日頃家庭で揮っている自慢の腕前と手際の良さを存分に発揮し、各支部から素晴らしい品々が出来上がりました。他の支部の作品に舌鼓を打ち、アイデアに感心しながら楽しく有意義な研修となりました。

なお、今回の「サバ・メシ」コンテストで作った力作は、地区の貴重な資料を残すことと、その情報を共有するため、レシピ集としてまとめました。

私たちの地区は、楽しく笑顔で活動することを心がけています。楽しいながらも真剣に取り組むことは当然ですが、楽しくなければ活動を長く続けられないだろうと考えているからです。

この気持ちを持ちながら、各支部が情報を共有し、意思の疎通を図り、お互いの良いところを参考にして地域でリーダーシップを発揮していきたいと思えます。そして、いざという時には、地域の方々と手を携えることによって（共助）、被害の軽減を図っていけると考えています。

これからも、安全・安心な地域づくりに取り組んでまいります。



広告

“安全は地球に暮らす人々の “共通言語”です



東北支社：〒980-0803 仙台市青葉区国分町2-14-18 ☎022(261)7221 [代表] 支社長 小山 賀久



「防火音頭」で心はひとつ

岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会

副会長 郷内 妙子

第29回防火研修会が、平成27年11月15日、岩沼市民会館で行われました。

初めに防火・防災作品の表彰があり、最優秀賞の標語に岩沼南小学校五年生、小助川友紀乃さんの「ふだんから 家族みんなで 火の用心」という作品が選ばれました。

続いて(株) 櫻井防災の大村様による「住宅用防災機器について」の貴重な講演をいただきました。住宅用火災警報器も、「10年たったら、とりカエル!」のがわが家と家族を守る基本との事です。

その後に吹上・北長谷各地区クラブ員によりまず体験発表があり、それぞれの取組について発表していただきました。

最後に「アトラクション」です。岩沼市では今回、昭和54年に作られた、本県が発祥の地でもある「婦人防火クラブ音頭」を普及させましよう、役員会で決まりました。役員、地区会長、そして各地区より選ばれたクラブ員50人で披露しました。2回の練習ですが、皆さん

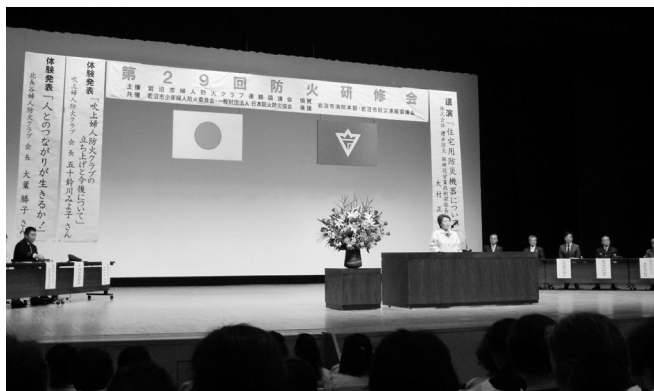
一生懸命でした。皆「心をひとつ」になり、まるで東日本大震災の時の「炊き出し」と同じような気持ちになりました。櫻井会長を手本に、歌詞はすばらしいのですが、身体が思うように動きません。まずは、手踊り、足踊り、そして歌といっしょに踊る練習をしました。

2回目は、会場の舞台・花道・中通路の踊り手を選び、ステージに立ったつもりで本番のように踊りました。研修会の前にも各地区で公会堂に集まり練習したそうです。

初めての舞台なので緊張しましたが、観客の皆様から大きな拍手をいただき、「心をひとつ」にして練習した結果だと思えます。

これからも、婦人防火クラブ音頭の歌詞にあるように、お隣同士声かけあって、指差点検をしながら防火意識を身近なものにして行きたいと思えます。いつでも歌えるように、会員皆で受け継いでいきましょう。

「地域から家庭から火を出さない」私達婦人防火クラブの基本です。



広告

あなたのおうちは大丈夫？

住宅用火災警報器は、
10年を目安に交換をおすすめします。

NOHMI 能美防災株式会社
東北支社：〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-20

住宅用火災警報器 **まるくん** 国家検定合格品

おかげさまで100周年
100th
安全・安心をこれからも。

単独型 部屋の美観を保つ、コンパクトタイプ



無線式連動型 別の階や離れた部屋での火災もいち早くお知らせ





命を守り、未来へ託す。

気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会

会 長 及 川 秀 子

私たちが暮らす気仙沼本吉地域は、宮城県の最北東端に位置し、美しい緑の山に守られ、どこまでも青く雄大な太平洋と共に生きる活気ある地域です。現在は、東日本大震災からの復興と被害の伝承を目的として三陸復興国立公園に指定されています。

昭和47年に当連合会の前身である気仙沼・本吉管内連絡協議会として発足し、昭和56年に気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会として1市5町(気仙沼市・唐桑町・本吉町・歌津町・志津川町・津山町)で結成されました。現在は平成の大合併により、気仙沼市婦人防火クラブ連合会・唐桑町婦人防火クラブ連合会・本吉町婦人防火クラブ連合会・南三陸町婦人防火クラブ連合会の4団体で、家庭を守る女性の立場から防火・防災の識見を高めるため、それぞれの地域に合った防火研修や訓練など日々研鑽を積んでおります。

活動の一つとして、連合大会「防火のつどい」を毎年開催しています(震災時等を除く)。この大会は、気仙沼市と南三陸町内の婦人防火クラブ員が一堂に会し、台所を預かる主婦として火災から家庭を守るために、防火・防災に関する知識を習得し、安心・安全な地域社会づくりを目指すとともに各クラブ相互の連携と親睦を深めることを目的としています。34回目を迎えた今年は、7月5日に気仙沼市唐桑町にある気仙沼市保健福祉センター燦さん館において開催しました。

オープニングでは唐桑町内の幼稚園児が「ぼうさい体操」を披露し、優良婦人防火クラブ表彰やクラブ員による意見発表、防火宣言、地元アーティストによる講演などを行いました。

東日本大震災から4年半が過ぎましたが、今、大きな問題として、婦人防火クラブ員や消防団員の減少があります。消防や警察だけではなく、婦人防火クラブや消防団、住民の方々を含めた地域防災力の強化がこれから更に必要になると思います。地域防災力を強化するためには、日頃からの学習や防災訓練を繰り返すことが大切であり、女性の視点で活躍できる婦人防火クラブの存在はますます重要になってきています。

私達が生きている今日は、震災の犠牲となられた方々が生きたかった今日でもあります。震災を後世に伝えることは、あの日を生き残ることができた私達の大事な使命です。被災地は未だ悲しみの中、復興途上の日々が続いています。しかし、被災地の“あの時”と“その後”は、これからの災害における大きな道標となるはずで。私達が体験した現実を語り続けることは、日本中、そして世界中から頂いた御支援に対する恩返しの一つともなるのではないのでしょうか。今後も自助・共助の精神で私達が出来ること全力で取り組んでいきたいと思。命を守り、未来へ託すために。



広告

NITTAN

ニッタン株式会社

東北支社

住宅用 火災警報器



〒980-0021 仙台市青葉区中央一丁目6番35号
東京建物仙台ビル4階

電話 (022) 266-6111

FAX (022) 266-6119

http://www.nittan.com

「平成27年9月関東・東北豪雨」災害における宮城県の災害対応状況

宮城県総務部危機対策課防災対策班

「平成27年9月関東・東北豪雨」は、数十年に一度の大雨となるおそれが大きいときに発表される大雨特別警報が県内で初めて発表された災害となりました。

県の災害時の基本的な役割は、大きく分けて3つあります。

①情報伝達・収集・共有

まずはじめに、気象台が発表する気象警報等を市町村に伝達するほか、被害情報をいち早く収集し、県と関係機関において情報を共有して必要な支援を適時適切に行えるようにするというのが1つ目の大きな役割になります。正確な情報無しに迅速な救助・支援活動を行うことはできないので、情報収集は重要な役割になります。

②市町村支援とその調整

2つ目として、最前線に対応している市町村や各消防本部の支援を行い、市町村が応急措置を実施できない場合には代行し、支援が不足する場合には他の自治体、国、関係機関等に広域応援を求めるなど、バックアップや総合調整の役割があります。

③県管理施設の応急措置

そして3つ目に、県管理の道路やダム、河川等について、必要に応じて通行規制、洪水調節、水位観測等を行い、被害や二次災害の発生を最小限に抑えるのも県の役割になります。

今回の災害で、県では、大雨警報が発表された9月9日から警戒配備体制をとり、10日21時頃から土砂災害警戒情報や水防警報等が続げざまに発表されたことから、市町村に土砂災害等への注意を呼びかけると

ともに、ダムの洪水調節等を行うなど、予防対策を行いました。その後、11日未明に大和町長から、吉田川の氾濫による要救助者を救助するため自衛隊の災害派遣を求める依頼があり、知事は自衛隊に対して災害派遣要請を行いました。同日朝方にも大崎市に対する自衛隊の災害派遣要請を行うとともに、災害対策本部を設置し、全庁を挙げて情報収集や救助・支援調整を行いました。

県には、「被災市町村に対する県職員の初動派遣制度」という制度があります。これは、事前指定した職員を被災市町村に派遣し、現場対応で忙しい市町村職員に代わって情報を県災害対策本部に報告する、市町村で困っていることを調査して支援要請を県災害対策本部に繋ぐ、といった業務を行うものです。

今回の災害でも、仙台市、栗原市、大崎市に職員を派遣し、迅速な情報収集に役立ちました。

県に集まった情報や通報等をもとに、自衛隊をはじめとする各機関が救助活動を行い、600人以上の方を救助できました。

しかしながら、多くの河川が破堤・越水したため、1,600棟以上の住家が浸水被害等を受け、公共土木施設や農林水産施設等であわせて約300億円の被害が発生しました（平成27年10月16日現在）。

今回の災害を受け、県ではハード・ソフト対策の両面から水害対策の強化を進め、県全体の防災力向上に努めてまいります。

最後に、今回の災害におきまして御支援、御協力を賜った皆様方に厚く御礼を申し上げます。

村井知事が地図で被害・対応状況を確認



(訓練時) 県派遣職員がシステムで情報を報告



あなたを守る住宅用火災警報器

○設置が義務付けられてから10年が経過しました

住宅用火災警報器（以下「警報器」）は、平成18年から一般住宅への設置が義務付けられました。婦人防火クラブでは、消防機関などの団体の協力を得ながら一般住宅への警報器の設置促進に取り組んできました。その結果、一般住宅における設置率（※1）は平成27年6月1日現在90.9%（全国2位）と普及が進みましたが、条例適合率（※2）は64.3%にとどまり、適正な設置の促進が求められています。

※1 1か所以上に警報器を設置している自宅の割合

※2 条例で設置が必要と定めている場所に警報器を設置している住宅の割合

○住宅用火災警報器はあなたを守ります！

火災による死者のうち、最大の原因は「逃げ遅れ」によるものです。火災から命を守るためには、火災を早期に発見し逃げ遅れを防ぐことが大切です。その手助けとなるのが、警報器です。

平成26年の全国の火災による死者数は、平成18年と比較して約1割減少、そのうち逃げ遅れによるものは約3割減少しました。

また、全国の住宅火災の発生件数についても、約3割減少しています。

警報器のおかげで火災に至らなかったケースもあり、警報器は、あなたの生命や財産を守ることができます。まだ警報器の設置がお済みでないご家庭では、できるだけ早期の設置をお願いします。

○警報器の正しい設置場所

警報器の設置場所は、市町村の条例で設置場所が定められています。県内の全市町村が、

- ①全ての寝室
- ②階段の踊り場（上階に寝室がある場合）
- ③台所

の天井または壁面に設置することになっています。

みなさんのご自宅では、警報器を正しい場所に設置していますか？もう一度確認しておきましょう。

○10年以上経過した警報器は交換時期です！

警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあります。また、警報器の種類によっては、電池の寿命が近くなると自動的に音が鳴るものもあります。火災が発生していないのに警報器が鳴った場合は、警報器本体の交換交換時期のサインです。

もしもの時に警報器が正常に作動するよう、日頃から警報器本体の「ボタンを押す」、または「ひもを引く」などの動作確認を定期的に行いましょう。

※全国の住宅火災の発生件数と死者数（消防庁火災統計調査より）

	平成18年	平成26年	減少数	減少率
火災発生件数（件）	18,328	12,922	5,406	29.5%
死者数（人）	1,187	1,006	181	15.2%
（うち逃げ遅れによるもの）	(759)	(544)	(215)	(28.3%)

※警報器の正しい設置場所



・壁面からの取り付け位置

警報器の中心を壁から60cm以上離します。

・はり梁などがある場合の取り付け位置

警報器の中心を梁から60cm以上離します。

・エアコンなどの吹き出し口付近の取り付け位置

換気扇やエアコンの吹き出し口から1.5m以上離します。

無防備な 心に火災が かくれんぼ（平成27年度全国統一防火標語）